



令和6年度
学校だより

吉井小学校だより

輝くよしいっ子



10日 第54号

文責：小西貴仁

1月9日（木）三番叟まわし！

1月9日（木）、9時頃から、阿波木偶箱廻し保存会の中内さんと南さんが、昨年度に引き続き、今年も吉井小学校に来てくださいました。中内さんと南さんには、以前から私も大変お世話になっておりました。今年もお会いすることができてうれしかったです。

この日は、朝から雪を心配していましたが、少し寒かったですが、青天に恵まれました。今回は、インフルエンザ等の感染予防として、体育館で間隔を取って座り、「三番叟まわし」を見ました。加茂谷幼稚園のみなさんも小学校に来て、一緒に参加しました。子どもたちは、ニコニコした表情で、楽しそうに三番叟まわしを見ていました。最後に、「福」をたくさんいただきました。

ここで、「三番叟まわし」について紹介します。

「三番叟まわし」は、およそ300年ほど前から徳島ではぐくまれたと考えられています。徳島県の正月儀礼（習俗）として永く定着し正月にも無くてはならない文化でしたが、1960年代にはほとんど見かけなくなったそうです。中内さんや南さんたちは県内の三番叟まわしの伝承者に弟子入りして、現在では、徳島の伝統文化としての正月の門付けを受け継いで世界中をまわっています。加茂谷幼稚園や吉井小学校の子どもたちは、中内さんや南さんの披露して下さった三番叟まわしから授かった福を大切に持って帰ったと思います。これからも、徳島の伝統文化でもある「三番叟まわし」を大切に受け継いでいく必要があると感じました。

【三番叟まわしの参考書籍として】

詳しい活動内容については、中内さんから吉井小学校に寄贈頂いている「人形のムラⅢ（阿波木偶箱廻し保存会のあゆみ）」の書籍に書かれています。学校にありますので、興味ある方は一読してみるのもよいと思います。

